

【基本情報】 リオデジャネイロ

ブラジルの南東部沿岸に位置するリオデジャネイロ市（以下、リオ市）は、サンパウロについて国内で2番目に人口の多い市です。2～3月に行われるサンバカーニバルで有名なリオ市は、東側のグアナバラ湾と海に迫る丘陵に挟まれた狭い地域に広がり、年間平均気温は20～24度程度と比較的過ごしやすい気候といえます。ワールドカップ開催中の6～7月は冬期にあたり、雨量も少なく日中の気温は18～25度になりますが、夜間は冷え込み気温が15度を下回ることもあります。

リオ市はコパカバーナやイパネマといった有名なビーチや、巨大なキリスト像のそびえるコルコバードの丘、巨岩ポンジアスーカル等の風景で親しまれている国際的な観光地ですが、近年まではブラジルで最も治安の悪い都市といわれていました。ワールドカップや2016年リオ・オリンピックを控え、リオ市は治安対策にかなり力を入れており、国内最悪の状況は脱しましたが、それでも日本と比較して殺人事件が2.3倍、強盗が300倍の確率で発生しています。本ウェブページで最近の邦人被害の例や危険な地域、時間帯をチェックし、安全・快適にワールドカップ観戦をお楽しみください。

【基本データ】

- 時差：日本より12時間遅れ(リオデジャネイロの午前0時が日本の午後12時)。
- 気候：6月の平均最高気温は25℃，平均最低気温は19℃。天気は晴れが多いが、雨が降ると冷え込むこともある。
- 服装：日本の初夏の服装で問題ないが、屋内では冷房が効いていることもあるため、長袖があると便利。
- 保健衛生：特段に注意の必要な風土病は報告されていない。飲料水は水道ではなくミネラルウォーターを購入する。
- 宗教：・カトリックを中心とするキリスト教が大半を占める。タブーは少なく、飲食関係の禁忌はほとんどない。
- 公用語：・ポルトガル語。主要なホテルのレセプション，レストラン，土産物店においては英語可。ただし，タクシーはポルトガル語しか通じない場合があるため、目的地を紙に控えていくのが無難。
- 通貨：・一般の店では，現地通貨リアルでのみ支払い可能で外貨は使用不可。
1リアル＝42円， 1米ドル＝2.4リアル（平成26年2月14日現在）
- クレジットカード：ほとんどのホテル，レストラン，土産物店等で主要なカード(VISA, Master 等)が使用できるが、タクシーでは現金のみの場合が多いので注意。ほとんどのホテル，レストラン，土産物店等で主要なカード(VISA, Master 等)が使用できるが、タクシーでは現金のみの場合が多いので注意。

【基本情報】 リオデジャネイロ

■チップ: チップの文化はない。レストランではサービス料として 10%程度が加算されていることがある。高級ホテルのポーターは荷物1個につき 1~2 米ドル程度(2~5レアル程度)が相場。

■電圧: リオとサンパウロは基本的に 110V(220V のところも有り)、サルバドールとマナウスは 127V、レシフェやブラジリアなどは基本的に 220V(110V のところも有り)。周波数はいずれの地域も 60Hz。

■インターネット: 通常のノート・パソコン内蔵のモデムであれば使用可能。電話のモジュラー・ジャックの形状は日本と同じ。